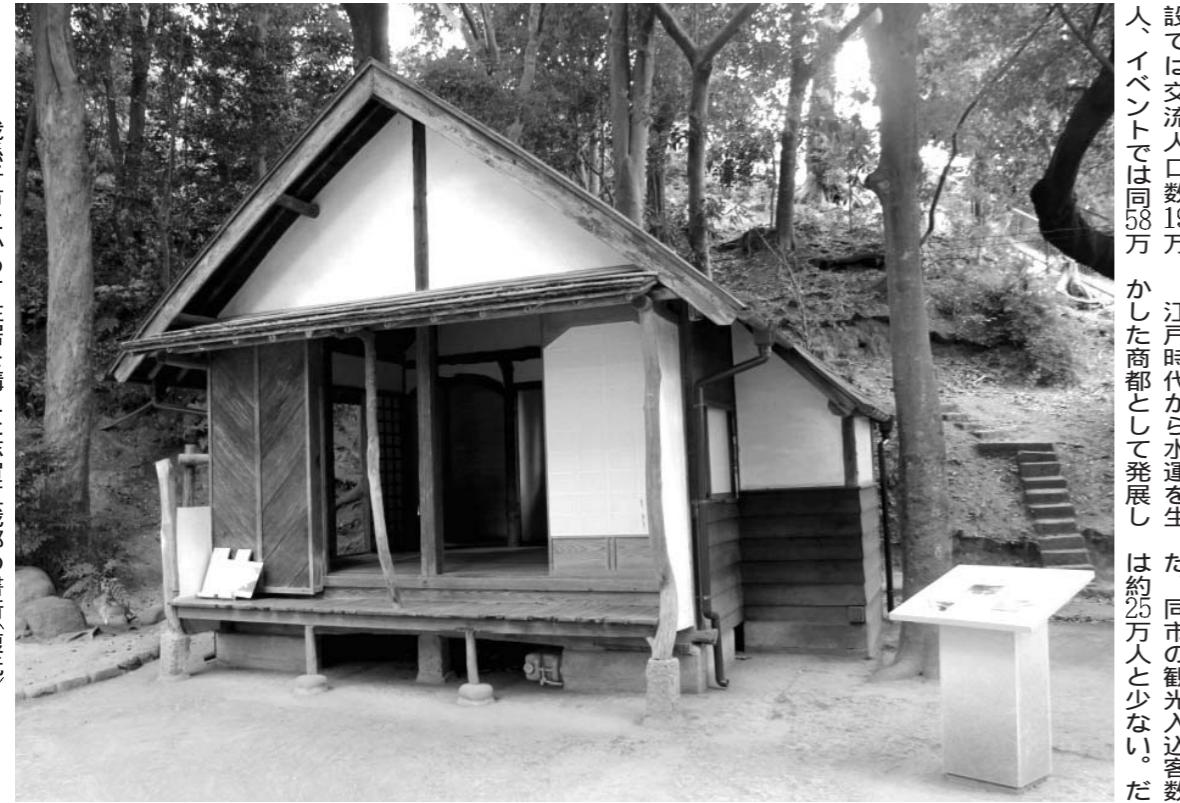


# 個性あざやかに



我孫子市にかつて住居を構えた志賀直哉邸の書齋(復元)

上野・日暮里からJR常磐線に揺られること数十分。東葛地区には、都心ではない自然のみずみずしさと、ひと味違った歴史の香りが漂つ。古い街並みや球団の2軍チームなど、各市は保有する観光資源を武器に、交流人口の増加を見込んでいる。魅力を発信して来場者を増やし活性化へ。各市の取り組みを追った。

かつて志賀直哉や武者小路美篤、滝井孝作らが「北の鎌倉」と称される我孫子市。水鳥が多く訪れる手賀沼周辺には、文人の邸宅跡や足跡を記す石碑、文学館が数多く点在している。それらは周囲の森と一体化して、都心から30キロ圏内と身近でありつつ、さながら都会とは別世界の雰囲気を醸し出している。

我孫子市は資源を積極的に生かそうと「市觀光振興計画」を開始した。計画は2013年度まで進める。直近のデータである10年度の観光入込客数で、同市は54万200人。隣接する柏市の366万人に比べ圧倒的に少なく、現状打開を見込む。

来訪者へのアンケートでは、手賀沼周辺の鳥の豊富さや、文化的資源に対する評価は高い。計画では、イベントの活性化や交通手段の改善などに着手。30年度に、観光施設では交流人口数19万人、イベントでは同58万人。江戸時代から水運を生かした商都として発展し、現在は約25万人と少ない。

たまに地元商店などが協力して、地元の切り絵職人

化事業を進める

1年

から、歴史的建造物を再

利用した店舗への改修費

や家賃の補助制度を

始めてこれまでレストランなど、店舗が進出した。

5日にオープンした「あ

かり館・彩」は、美濃和紙

を使った照明を販売、早

くも買い物客であふれ

いる。

また地元商店などが協

力して、地元の切り絵職人

の作品を利用した行灯を開

発。夜の本町を点々と

明かりは、「行灯回廊」として注目を集める。

また地元商店などが協

力して、地元の切り絵職人

の作品を利用した行灯を開

発。夜の本町を点々と

明かりは、「行灯回廊」として注目を集めている。

東葛6市の中で最南端の鎌ヶ谷市も、観光ビジョンの施行を今年始めた。同市の観光入込客数は約25万人と少ない。

たまに地元商店などが協

力して、地元の切り絵職人

の作品を利用した行灯を開

発。夜の本町を点々と

明かりは、「行灯回廊」として注目を集めている。

東葛6市の中で最南端の鎌ヶ谷市も、観光ビジ

ョンの施行を今年始め

た。同市の観光入込客数は約25万人と少ない。

たまに地元商店などが協

力して、地元の切り絵職人

の作品を利用した行灯を開

発。夜の本町を点々と

明かりは、「行灯回廊」として注目を集めている。

東葛6市の中で最南端の鎌ヶ谷市も、観光ビジ

ョンの